

山 行 報 告 書

山行提出者：鈴木

山 域・山 名： 西 穂 高 岳 (2,909m、長野県松本市)	
入山日：平成 29 年 1 月 20 日～21 日 (金-土) 1 泊 2 日 帰宅予定日：1 月 21 日	
プラン担当者 正： 鈴木 副：	概略図
参 加 者 L： 鈴木 報：鈴木 記：鈴木 男 1 名、女 名、計 1 名	
天候 1/20 曇り 時々雪 1/21 雪 のち曇り	
月 日()	集合時間： 午前・午後 時 集合場所：
1/20 (金)	07：05 新宿発路線バスにて平湯経由新穂高温泉 12：35、 ロープウェイにて西穂高口へ、13：45 山行開始-15：15 西穂山荘着、テント設 営
1/21 (土)	06：30 起床-(テント撤収)-09：00 西穂山荘発-11：20 西穂高口着、ロープ ウェイで新穂高まで下山。
荒天候時のエスケープルート： 小屋泊に切り替えるか、山行中止し引き返す。	
装 備 と 食 糧	<p>共同装備：テント一式 (要外張り)、ストーブ (寒冷用ガス含)、クッカー</p> <p>共同食：</p> <p>車提供者：</p> <p>個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、替衣類、シュラフ、 エア (銀) マット、水、帽子 (目出帽)、冬グローブ、スパッツ、ストック、 ピッケル、アイゼン、わかん、ツェルト、スコップ、携帯トイレ、サブザック</p> <p>個人食：食事×4 プラス予備食、行動食</p>
感 想	<p>1/20 ロープウェイは中国人観光客ばかりで登山客ゼロ、登山道は竹竿とトレースがあり、 ラッセルせずに山荘到着。小屋、テント含め登山客は私のみ、翌日の山行が危ぶまれる。</p> <p>1/21 夜間相当な積雪があり (70CMほど)、テントが半分埋められていた。小屋のトイレ まで行くだけでも大変な労力、帰路での一人ラッセルを危惧し登山はあきらめ、早々に下山 する。帰路、半分ぐらいは私がラッセル、残り小屋の人と上がってくる人のトレースに助け られ 2h20m ほどで西穂口に到着。積雪の怖さとラッセルの重労働を肌で感じた山行となっ た。</p>